

# 作業補足シート

4 : 4 9

分野	測定・評価	作業名	LSPM（アンリツ）による測定
目的	LSPM 法による光損失測定（Anritsu CMA5 OLTS）を行う。 測定に際しては、1 テスト基準法を用いる。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. ゼロオフセット調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定器の防塵キャップを取り付けた状態にする。</li> <li>測定器の【Loss】ボタンを長押しし、【HELD】と表示されたら手を離す。ゼロオフセットが正常に行われた場合、【SUCC】と表示される。</li> </ul>		0 : 3 4
2. PM(パワーメータ)側波長設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Func】ボタンを押すことでPM（光パワーメータ）とLS（光源）の表示（設定）画面を切り替えることができる。</li> <li>PM 表示の状態で【λ(波長)】ボタンを押し、パワーメータ側の波長を測定する波長（1310nm）に設定する。</li> <li>SM ファイバ：1310nm、1550nm MM ファイバ：850nm、1300nm</li> </ul>		0 : 4 0
3. 絶対基準表示設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>【dB/ dBm】ボタンを押すことで、絶対基準値（dBm）と相対基準値（dB）の表示を切り替えることができる。</li> <li>現在の表示が【dBm】であることを確認する。</li> </ul>		0 : 5 0
4. LS(光源)側波長設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Func】ボタンを押し、LS(光源)側に表示を切り替える。</li> <li>【λ(波長)】ボタンを押し、光源側の波長を測定する波長（1310nm）に切り替える。</li> </ul>		0 : 5 2
5. 基準値用テストコードの接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準値取得用となるテストコード（マスターファイバ）を測定器の光源側とパワーメータ側に接続する。</li> <li>コネクタ接続の際は、光コネクタクリーナーで必ず清掃する。</li> </ul>		1 : 0 2
6. 光源の出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Ls On】ボタンを押し、光源を出力する。</li> </ul>		1 : 5 7
7. 現在値を相対基準として設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Ref】ボタンを長押しし、【HELD】と表示されたら手を離す。これにより、現在の値を絶対基準値として保存することができる。</li> </ul>		2 : 0 4
8. 光源の出力を停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>再度、【Ls On】ボタンを押し、光源の出力を止める。</li> </ul>		2 : 1 3
9. 相対基準表示の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の表示を絶対基準値表示（dBm）から相対基準値表示（dB）へ切り替える。</li> <li>【Func】ボタンを押し PM 側に表示を変え、【dB/dBm】ボ</li> </ul>		2 : 1 9

	<p>タンにより相対基準値表示 (dB) へ切り替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 測定 (光源の出力) に備え、あらかじめ LS 側表示に切り替えるため、【Func】 ボタンを押す。</li> </ul>	
10. 基準値用テストコード被測定ファイバを接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被測定ファイバを測定器に接続する。</li> <li>・ 接続に際しては、測定器の LS 側部のテストコードは絶対に外さないこと。</li> <li>・ PM 側テストコード取り外し、その先にコネクタ・アダプタを介して被測定ファイバ、さらにはテストコード (マスターファイバ) を経て測定器の PM 側に接続する。</li> <li>・ 接続の流れ 測定器 LS 側→テストコード→コネクタ・アダプタ→被測定ファイバ→コネクタ・アダプタ→テストコード→測定器 PM 側。</li> </ul>	2 : 3 4
11. 光源を出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【Ls On】 ボタンを押して、光源を出力し、測定を開始する。</li> </ul>	4 : 3 3
12. 損失結果の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準値に対する光損失 (相対値) が表示される。</li> <li>・ 再度、【Ls On】 ボタンを押し、光源の出力を止める。</li> </ul>	4 : 4 0
使用器具	ロステスタ (Anritsu CMA5 5LT35 : 1310 nm/1550 nm)、SC コネクタ付マスターファイバ×2、SC 単心アダプタ×2、光コネクタクリーナー (FlukeNetworks Quick Clean 2.5mm)	
使用材料	SC コネクタ付ファイバ (被測定用) ×1	
最終更新日	2022/03/07	